

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成29年1月5日 (2017.1.5)

【公開番号】特開2016-105883(P2016-105883A)
 【公開日】平成28年6月16日 (2016.6.16)
 【年通号数】公開・登録公報2016-036
 【出願番号】特願2016-49845(P2016-49845)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月17日 (2016.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と

、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、

前記球送り手段は、

金属板材における第 1 板面部を第 2 板面部に対して屈曲させて、遊技媒体に設けられた線材の進入しうる隙間が形成された不正防止部材を具備し、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

該収容部は、少なくとも前記金属板材における前記第 2 板面部を位置決めする位置決め部を有し、

前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な誘導部が設けられる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

本発明は、

複数の遊技媒体を貯留可能な貯留手段と、

前記貯留手段に貯留された遊技媒体を通過口を介して発射位置に送り出す球送り手段と

、

前記球送り手段により前記発射位置に送り出された遊技媒体を遊技領域に向けて一つずつ発射可能な発射手段と、

を具備する遊技機であって、
前記球送り手段は、

金属板材における第 1 板面部を第 2 板面部に対して屈曲させて、遊技媒体に設けられた線材の進入しうる隙間が形成された不正防止部材を具備し、

前記球送り手段には、前記不正防止部材を収容可能な収容部が形成され、

該収容部は、少なくとも前記金属板材における前記第 2 板面部を位置決めする位置決め部を有し、

前記金属板材には、遊技媒体に設けられた線材を前記隙間に向けて誘導可能な誘導部が設けられる

ことを特徴とする。

また、本発明とは別に開示する別発明の手段を以下に示す。

手段 1：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が打込まれる遊技領域と、

該遊技領域の後端を区画し、前後方向に貫通した開口部を有する板状の遊技パネルと、

該遊技パネルの前記開口部に対して前側から挿入固定され、前記遊技領域内へ打込まれた遊技媒体が前記開口部内へ侵入するのを阻止可能な枠状の周壁部、及び該周壁部の所定位置からのみ前記遊技領域内の遊技媒体が供給されて左右方向へ転動可能とされると共に該遊技領域内へ還流放出可能とされたステージ、を有したセンター役物と、

該センター役物の枠内で前記ステージの左右何れか一方側に近接して配置されると共に、前記周壁部の内周に接した通常位置と正面視前記遊技領域の中央側へ接近した出現位置との間を、前記遊技領域内へ遊技媒体が打込まれることで変化する遊技状態に応じて移動可能とされ、移動によって形成される前記周壁部の内周との空間に遊技媒体が侵入するのを防止する侵入防止部材を有した可動装飾体と
を具備する」ものであることを特徴とする。